

家庭系収集ごみ有料化に向けた地域意見交換会 (岡田コミュニティ) 意見の概要

日 時 平成27年9月15日(火) 18時から19時まで

場 所 岡田公民館

出席者 地域の方：15名

事務局：6名(環境経済部長、ごみ対策課長、同副課長、ごみ対策課担当者2名、
リサイクルプラザ担当者1名)

家庭系収集ごみ有料化検討会議会長

資料に基づき事務局説明

- (1) 「知多市家庭系収集ごみ有料化基本計画」について
- (2) 意見交換事項
 - ア 手数料の設定について
 - イ 効果的な施策について

<質疑、意見>

《ごみ排出量とごみ処理費用について》

【意見等】 1人1日当たりのごみ排出量は横ばいか若干減少している中で、ごみ処理費用の内のごみ収集関係費用も横ばいですが、ごみ処理費用自体は3割ほど増加しているのはどうしてですか。

【事務局】 ごみ収集費用について、ごみ排出量は横ばい状態ですが、収集場所の箇所数は増加していることもあり、収集費用は余り変化がないことが現状です。

ごみ処理費用について、現在のごみ焼却施設は平成15年に竣工し、平成20年は約5年経過した時期であり、現在、約12年経過しています。ごみ焼却施設は約20年で大規模な修繕をしなければ、その後の使用が困難になるとされています。現在は、施設稼働から10年ほど経過しており、主要部分の機器交換や修繕の必要が生じています。それらの費用が通常の修繕費に加えて増えてきています。その結果、ごみ処理費用は増えています。

【意見等】 ごみ排出量とごみ処理費用は必ずしも比例している訳ではないのですか。

【事務局】 ごみが減れば、ごみ処理費用も減るとおられるお気持ちは分かりますが、ごみ排出量と処理費用は必ずしも比例しません。

例えば近隣で、豊明市、大府市、東浦町、阿久比町の4つの市町は、東部知多衛生組合を構成して1つのごみ処理施設を共同使用していますので、老朽化した場合の全体の修繕費は増えますが、維持管理費の負担は各市町のごみ搬入量で負担割合が変わりますので、努力してごみの排出量を減らせば、負担は減る傾向です。しかし、知多市は単独のごみ処理施設を所有しているため、施設が段々傷んできた場合は全ての修繕費用を知多市が単独で負担しなければなりません。単独市の場合は修繕費を全て負担しますので、ごみが減れば、管理費や維持費が減るという関係ではありません。

【意見等】 資料の説明は、このままでは、ごみが増え続けるような印象を受けましたが、人口は減少していくと思います。それについてはどう考えますか。

【事務局】 人口が減少すれば、ごみの総量は減っていくと思いますが、資料で説明しているのは1人1日当たりのごみ排出量であり、この1人1日当たりの排出量を減らしていきたいということです。

【意見等】 そのために、ごみ袋の値段を上げることで、ごみ排出量を下げていきたいという考えですね。

【事務局】 そうです。今までごみとして排出してきたものを、資源として出していたらごみは減っていくと考えています。また、常滑市では従来、ごみ袋は45リットル袋が良く売っていたそうですが、有料化を実施後は、30リットルに切り替えられているとのことでした。

《ごみ処理に掛かる費用と負担について》

【意見等】 ごみ排出量はグラム表示、費用負担についてはリットル表示となっているため、相互の関係が分かりにくいです。

【事務局】 ごみ 0.1kg が1リットルに相当するため、ごみ1kg 当たりは10リットルに換算できます。これは収集場所に出されたごみ袋を回収して、平均的な数字を出したものです。収集場所から回収したものは、計量器で重さを

量っていますが、皆さんが排出される際は重量よりもごみ袋の容量に関心あると思いますので、1リットル当たりで表記しているものです。

また、有料化を実施済みの他自治体では「1リットル当たり1円の負担」と表しているところが多いことから、それに合わせています。

【意見等】 有料化になると、1つの袋にごみを多く詰めるようになり、リットル当たりの収入予測をしている場合は、予測より実績が少なくなりませんか。

【事務局】 現在の予測は、1世帯の平均人数を2.5人として、1世帯1か月当たりの手数料負担額を試算するに当たり、可燃物は45リットル袋を週に2枚、不燃物は20リットル袋を隔週に1枚使用すると想定しています。1世帯当たりでもっと多くのごみが出ているのではないかと意見はありますが、減量効果を考慮して、予測は現在よりも少なめに試算をしています。

《知多地域の有料化の取組状況について》

【意見等】 隣接の阿久比町や東浦町の状況はどうか。また、東海市とごみ処理施設を一緒にしていく中で排出方法等も一緒にしていくつもりですか。

【事務局】 常滑市は1リットル当たり約1円という設定で有料化を実施しています。半田市、東浦町、美浜町も有料化を検討しているようで、県内の状況を考えると1リットル当たり1円程度の負担を検討しているように推測されます。

現在、半田市、常滑市、武豊町、美浜町、南知多町の5市町で1つのごみ処理施設の建設を進めていますが、今後、5市町の中で有料化を実施しない市町に他市町のごみが排出される恐れがあるので、5市町は有料化を実施する方向になるのではないかと推測されます。

東海市は、一定量の指定ごみ袋を無料配布する方法を採用しており、この方法は県内でも他に碧南市、高浜市だけです。東海市では一定量無料配布のごみ袋を使いきってしまった後、知多市では1枚当たり約10円で販売している指定ごみ袋を1枚当たり110円で販売しています。無料配布の枚数については、世帯の人数にも拠りますが、普通の生活では追加のごみ袋を買わなくても足りるようです。

ごみ処理施設を複数の市町村で利用している場合でも、手数料は必ずしも

一緒ではありませんが、平成36年度から新しい施設の利用となる予定の中で、東海市と同じ制度にならないのかという意見がありますので、8年後に向けて東海市と調整の必要はあると考えています。なお、東海市は指定ごみ袋の作成に約1億円掛かっているそうですので、知多市で同様の一定量無料型にすることは、今の財政状況では厳しいと考えています。また、このタイミングで東海市と同じやり方をするという事は、昨年の検討会議では出ていません。現段階では、常滑市の1リットル当たり1円の手数料という全国的に平均的な設定で進めていきたいと考えています。

《手数料額について》

【意見等】 指定ごみ袋の値段が、今まで10円だったものが45円になるとすれば、450%の負担増であり、いきなり100%超の負担増が理解できません。消費税のように、段階的に手数料を上げることは考えていませんか。

また、ごみ処理費用の20%程度の負担を市民に求めるということでしたが、それが将来的に増えたりはするのでしょうか。5年後や10年後などには、どのような設計を立てているのでしょうか。

【事務局】 急激な値上げに対するお叱りの意見はあります。県内でも20年程前から弥富市や津島市で45リットル大袋1枚を20円から30円の手数料設定で有料化を実施しており、現在でも同じ値段で設定をしていますが、近年の有料化実施自治体は1リットル当たり1円前後の手数料設定が多いため、それらを参考としています。

全国的に長年、ごみ処理は無料で実施されてきた中で、近年、有料化推進の方針が国から出ており、全国の自治体の約60%が有料化を導入している実情があるため、知多市も有料化を進めていきたいと考えています。なお、一旦、手数料の値段を決定すると、最値上げは難しいと考えています。

《受益者負担について》

【意見等】 ごみ処理費用の15%程度の負担を市民に求めるとの説明でしたが、単純に言えば、現在の指定ごみ袋の値段の4.5倍にしたいということになりま

す。ごみ袋を50枚使っている世帯は、現在、掛かっている500円の費用が、有料化に伴って2,250円になるということであり、負担割合での説明は分かりにくいと思います。いかにも負担が少ないかのような説明をしないで、しっかりと説明したほうが良いのではないのでしょうか。

【事務局】 45リットルのごみ袋1つ当たりの処理費用が275円掛かるので、有料化を実施して50円の手数料を負担してもらった場合に、ごみ処理費用に対する負担割合が15%程度になると説明したものです。

また、他の地区の意見交換会では、現在も指定ごみ袋を購入しており、今回の取組を有料化と言うのはおかしいのではないかと、という意見もありましたが、そのような意味では、今回の取組は「手数料化」と言った方が正しいかもしれません。全国的にも今回のような取組を「家庭系収集ごみ有料化」と言っていますので、あえて違う表現を使わないで、有料化としています。

【意見等】 全国の約60%の自治体が有料化を進めているとのことでしたが、なぜ知多市もその60%の中に入らなければならないのですか。有料化の意味合いは分からなくはないですが、そのことがどうしても引っ掛かります。

【事務局】 有料化導入の理由として、市の財政的な状況が挙げられます。受益者負担という考え方があり、現在、指定ごみ袋を購入してもらっていますが、その購入費用は市の収入として全く入っていないため、ごみ処理に関しても処理費用の一部を市民の皆さん負担していただきたいと考えています。

【意見等】 受益者負担金ということでごみ処理費用が上がり、知らぬ間に東海市と新しいごみ処理施設を造るということですが、市民に還元されるものは何かあるのでしょうか。

【事務局】 有料化により、資源が増えるため、地域に売却代として入ってくる金額が増えると考えています。

【意見等】 それは、ごみ処理に係る受益者負担の話ではなく、資源回収に係ることではないのですか。

【事務局】 ごみと資源は一体のものだと考えていますので、ごみ処理に係る受益者負担を市民に求めることがごみ減量につながり、ごみとして排出されていた物が資源として地域回収されることで、地域に入る資源売却代が増加するとい

うことです。

【意見等】 それを言うのであれば、民間企業が資源回収を行っており、民間企業の常設場に資源が溜まっていることに対して、知多市としてどう思っているのでしょうか。有料化と言うのであれば、手数料を設定する前に何か他に手段があるのではないのでしょうか。

【事務局】 民間企業が行っている事業に関しては知多市としては介入ができません。民間企業に対して、資源回収を廃止するように要請することはできませんので、ご理解いただきたいと思います。

【意見等】 それ以上のサービスをするのが知多市としての役割ではないのでしょうか。

【事務局】 理屈としては、有料化で市の収入として入ってきたお金は、知多市の市民のための他の事業の財源として使われることになります。

【意見等】 他の事業といいます、公共事業といって道路などを作る場合、それが本来に市民のために使われるものなのではないのでしょうか。何か違う気がします。

《資源回収について》

【意見等】 各自治体で手数料の設定ができるというのなら、資源売却代を地域に還元する際に金額を上乗せするなどすれば、各団体が資源の分別をさらに進めることができ、ごみの減量が進むのではないのでしょうか。単に、指定ごみ袋の値段を上げるというだけでは、住民は納得しないのではないのでしょうか。もう少し、リサイクルに力を入れて、そちらの方でメリットを感じるようにしてみても良いのではないのでしょうか。

【事務局】 他の地区でも同様の意見がありましたので、こうした意見を参考にして、考えていきたいと思います。

【事務局】 資源回収に関して、知多市の地域回収は独特の方法を取っています。知多市の地域回収は、地域で集めていただいた資源を市で売却し、その売却代の全額を駐在員単位の地区に支払っている制度です。この地域では、知多市だけの制度でございます。他の自治体では売却代の内の半額や何%かを還元する制度がほとんどです。知多市だけが、売却代の全額を地区に還元している制度であることを理解いただきたいと思います。

【意見等】 売却代の全額を還元しているのは分かりますが、有料化を実施するのなら、売却代に加えて奨励金などをもたらすことはできないのですか。

【事務局】 資源回収を始めた頃は、資源売却代の単価が今のように高くなかったために、資源売却代に奨励金を加えて地区に還元していました。しかし、10年ほど前から資源売却代も上がってきたため、奨励金を段階的に下げ、現在では奨励金はない形で資源売却代を還元しています。ただし、先程の意見を参考に、今後は奨励金制度も検討はしていきたいと思います。

また、資源回収については、公民館などに常設の資源回収場所を設けることや、資料の16ページに記載しましたが、資源回収品目を増やすことなどを検討しています。資源回収品目の増加については、衣類以外の布類や飲料缶以外の缶類、色付きトレイなどを考えており、発泡スチロールについてもごみ袋入れると嵩張るため、資源として回収するように考えています。なるべく、ごみとして排出するものを減らしていくことを考えていますので、よろしくをお願いします。

【意見等】 ごみ排出量は減っており、これはすばらしいことだと思いますが、資源回収量も減っています。これはどういうことですか。

【事務局】 この資料の資源回収量は、市で回収をしているものですが、減少の原因としては、新聞店による新聞紙の自主回収、民間企業の資源回収常設場、スーパー等での資源回収等が挙げられます。

家庭系の収集ごみ量は横ばい状態で、1人1日当たりのごみ排出量が県内平均よりも約100g多くなっており、この減量を考えています。

《指定ごみ袋について》

【意見等】 現在、販売されている指定ごみ袋は、厚みに業者によるバラつきがありますが、有料化した際はどうなりますか。

【事務局】 現在の指定ごみ袋の作成と販売は、指定登録制を取っており、自由販売方式のため、許容の範囲内で業者による袋の厚みに多少のバラつきもありますが、有料化を実施した場合、指定ごみ袋の値段が手数料となり、販売店による違いはなくなり、手数料額として販売価格が統一されます。例えば、手数

料額を45リットル袋1枚50円と設定した場合は、どこの販売店でも50円で購入してもらうことになります。具体的には、現在の指定ごみ袋製造と販売の実績もある知多市商工会を中心に統一していきたいと考えています。

【意見等】 東海市ではある一定の量のごみ袋を無料配布し、それを超えるとすごく高い金額でごみ袋を購入することになるために、若い人たちは無料配布分だけで足りるようにごみ減量を努力しているそうです。そのような意味で、市民がごみ減量化を進めるための目標が必要だと思います。指定ごみ袋の値段が高くなるだけでは、慣れてしまえばごみ量は変わらないし、マナーも改善されないと思います。市民の皆さんのマナーも向上されるような制度作りをして欲しいと考えています。

《ごみ処理施設の統合について》

【意見等】 資料にはごみ処理費用が記載されていますが、東海市と合同でごみ処理施設を建設した場合は、どれほどのごみ処理費用になると考えていますか。

【事務局】 この場でごみ袋1袋当たりの現在の処理費用275円に該当するものが、いくらかというのはお伝えできませんが、費用が減るのは間違いありません。

【意見等】 そのような漠然とではなく、もう少し、詳しく説明できませんか。

【事務局】 現在、西知多医療厚生組合のごみ処理基本構想検討会議で、ごみ処理量等について検討している段階です。どのような施設にするかについては、今後の検討課題になっています。

【意見等】 具体的に裏づけを取って、施設の能力を考えていかないといけないと思います。当然、設備は故障もし、費用が掛かることを踏まえ、他の市町村で掛かっている費用と比較し、新施設について検討する必要があります。他市町の施設では、どれだけの処理費用が掛かっているのでしょうか。

【事務局】 東海市では知多市と同程度の処理費用が掛かっています。東部知多衛生組合では4つの市町で使用していますので、知多市より安くはなっています。

【意見等】 1リットル当たりの処理費用は変わらないのではないですか。

【事務局】 トータルの処理費用は同じぐらいですが、東海市は知多市よりも人口が多いので、1人当たりの処理費用は知多市よりは安くなっています。

【意見等】 新しい施設は、熱の再利用等の性能はありますか。

【事務局】 現在の知多市のごみ処理施設も熱回収を行い、発電も行っています。発電した電気は場内で使用し、場内で使用する電気の約半分を賄っています。新しい施設は発電をしなければ、国からの交付金を受けられないこともあり、必ず発電をすることになっています。また、熱回収の技術が非常に進歩しており、新しい処理施設では高効率の発電ができるとされています。

【意見等】 温水プールを造るとされていますが、どうなのですか。

【事務局】 本日の新聞にも掲載されましたが、東海市と共同の新しいごみ処理施設は現在の知多市清掃センターの敷地内が建設候補地となり、新施設の電力を売却し、新しい温水プール施設に充てていきたいと考えています。

また、温水プールは、現在の知多市海浜プールの位置とされ、老朽化が激しい海浜プールを建替え、健康増進施設を併用することが発表されました。

【意見等】 排熱を利用するのではなくて、別にボイラーを利用する予定でしょうか。

【事務局】 現段階では、温水プールの熱源をどのようなものを使用するかは決まっていませんが、ボイラーを使用する形になると考えています。また、清掃センターから海浜プールまで約900mあり、その間に西知多産業道路や公有水面もありますので、管を通して熱を送るのは得策ではないと思っています。

【検討会議会長】 本日は厳しくも建設的なご意見いただきありがとうございました。

今回の話し合いの中でもメリットが「見える化」できるのが必要ではないかと考えさせられました。自分たちがどれだけごみの量を減らすことができたかを「可視化」すること、また、それに対応して「減らして良かった」と思えるような事が必要だと感じました。

そもそも、有料化することが目的ではなく、ごみの減量をすることが一番の目的です。そのための手段として、ごみ袋の値段を少し上げさせていただき、その中から手数料をいただき、ごみと資源を分けていただき、一人当たりのごみの排出量を減らしていこうというものです。このことが、最大の目標でありますので、市民の皆さんにこのことが上手く伝わるように、再度、説明資料を見直す必要があるのではないかと考えています。本日はお忙しい

中、ありがとうございました。

【事務局】 本日はいろいろご指摘いただき、ありがとうございました。今後、いただいた意見を基に話を詰めていきたいと思えます。いろいろご意見ありましたが、例えば、南粕谷、旭南コミュニティでは、常滑市から越境してくるごみを何とかして欲しいとのご意見がありました。常滑市は有料化を実施して、常滑市でも知多市のごみ袋を販売していますので、かなりの量が知多市にごみが排出され、悲鳴が上がっているそうです。有料化の設定を高くしろとの厳しいご意見もいただきました。

東海市の話もあり、東海市では購入すると指定ごみ袋1枚が110円掛かりますので、東海市のごみもかなり知多市に排出されています。東部、八幡コミュニティからは東海市から越境してくるごみを何とかして欲しいとの声もいただきました。このようなご意見もごさいますので、全体のご意見を参考に検討していきたいと考えています。